

2019年度 成績優秀者表彰式を実施

本学では在学生の学習意欲と学力の向上を目的として、2015年度から成績優秀者表彰制度を創設し、各学年の優秀な学生を表彰しています。

成績優秀者表彰制度

【最優秀賞】 対象/4年次・各学科1名(計15名)

【優秀賞】 対象/2~4年次

【奨励賞】 対象/2~4年次

※選考基準は各学部・群により異なります。



KITA
GATA

北方キャンパス 2019年6月11日(火)

学部	学科	氏名
外国語学部	英米学科	宮崎 祐紀子
	中国学科	山田 笑
	国際関係学科	西田 有彩
経済学部	経済学科	重久 陸人
	経営情報学科	中村 健一
文学部	比較文化学科	坂本 美保子
	人間関係学科	河野 遥奈
法学部	法律学科	入口 莉緒
	政策科学科	植田 和子
地域創生学群	地域創生学類	西村 美咲



HIBI
KINO

ひびきのキャンパス 2019年6月12日(水)

学部	学科	氏名
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	阿部 桃子
	機械システム工学科	福永 諒汰
	情報メディア工学科	久保 大樹
	建築デザイン学科	森友 義弥
	環境生命工学科	高野 心

本学独自ガイダンス 開催決定!

本学主催の出張ガイダンスを下記会場で開催します。

入試直前相談会

日時 2020年1月25日(土)
10:00~16:00(予定)

会場 博多バスターミナル
9階 大ホール

※予約不要、入退場自由です。
※大学入試センター試験の再試験が行われる場合は、相談会の開催を中止もしくは延期する場合があります。

北方キャンパス 大学祭 第73回 青嵐祭

「凌速 ~波打つ千鳥の芽吹~」

学生主体の模擬店やステージイベントなどたくさん企画があります。

日時 2019年
11月2日(土)・3日(日)・4日(月祝)
10:00~21:00

会場 北九州市立大学 北方キャンパス
(福岡県北九州市小倉南区北方4-2-1)

詳細は決定次第随時本学ホームページでお知らせします。

国際環境工学部 ひびきのオープンキャンパス in 響嵐祭

ひびきのキャンパス【国際環境工学部】では、大学祭(響嵐祭)にあわせてオープンキャンパスを開催します。

日時 2019年11月10日(日)
10:00~15:00

会場 北九州市立大学
ひびきのキャンパス
【国際環境工学部】
(福岡県北九州市若松区ひびきの1-1)

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

青嵐

The University of Kitakyushu Information SEIRAN Vol.50 発行日/2019年10月1日 発行元/北九州市立大学広報入試課

北九州市立大学学報

青嵐

題字:阿南 惟正 初代理事長筆

CONTENTS

- 02 | 2018年度大学卒業者の就職状況について
- 04 | 研究室の紹介
- 06 | 北九州市立大学後援会館
- 06 | 北九大魅力発信プロジェクト2019始動しました
- 07 | オープンキャンパス座談会
- 08 | 2019年度 成績優秀者表彰式を実施・本学独自ガイダンス開催決定!
北方キャンパス大学祭 第73回 青嵐祭
国際環境工学部 ひびきのオープンキャンパス in 響嵐祭

Vol. 50



公立大学法人
北九州市立大学

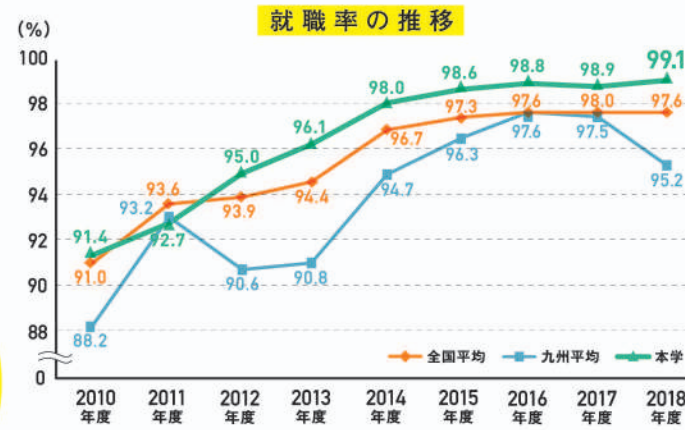
学報「青嵐」第50号

発行日/2019年10月1日
発行元/北九州市立大学広報入試課

2018年度 大学卒業生の 就職状況に ついて

過去最高更新の
就職率
99.1%

※就職率=就職者/就職希望者



今回の就職率上昇は、

- (1) 景気回復による企業の採用増
- (2) 10月以降の未内定者に対して、職員による学部担当制や学生相談室との連携により、個別にきめ細かい就職支援を図ったこと
- (3) キャリアカウンセラーによる電話調査を実施。卒業後就職活動予定の学生に対し、希望者には、在学中に就職活動を紹介したこと
- (4) インターンシップ強化によるキャリア教育の充実を図ったこと

区分	2016年度	2017年度
参加学生数	561	642
企業数	234	254

※2018年度卒業生は、2017年度(3年生時)のインターンシップに参加

等によるものと考えています。

今回の市内就職者増加は、

- (1) 市内企業就職専用相談を行ったこと
- (2) COC+事業で地元就職推進の取り組みを行ったこと
- (3) アンケートで市内就職希望者を早期に把握し、個別に対応したこと
- (4) 北九州市奨学金返還支援事業による市内企業への就職促進の効果等によるものと考えています

双日株式会社 自動車本部自動車第二部第二課

石田 彩佳さん 法学部 法律学科 2019年3月卒業

Q.現在の業務内容

A. 日本車と中国車のトレーディングに携わっています。ロシア向け案件/アルゼンチン向け案件チームに所属、現在は実務担当として日本と現地(ロシア/アルゼンチン/中国)の取引先と日々やりとりをしています。

Q.就職先を決定した決め手

A. 在学中に1年半シアトル(タコマ)に滞在しましたが、海外への興味・関心がより一層強くなり、ワールドワイドに働ける業界に絞って就職活動をしました。最終的に商社に絞った理由としては、1.日本と海外、どちらの発展にも貢献出来る点に魅力を感じたことと、2.同じ商社に勤める父の仕事に長年興味を持っていたからです。良い意味で

貪欲な社員、活気ある社風に惹かれ、最終的に弊社に決めました。

Q.大学の就職支援や学業で役立ったこと

A. 【就職支援】就職活動の基礎(社会人になっても必要不可欠)となるマナー講座にて、社会人としての基礎を学びました。又、大手企業も参加する合同説明会に参加しました。

【学業】法律を学ぶ上で(判例研究等を重ねる上で)、ロジカルに結論に辿りついていく術を学びました。

Q.先輩に一言

A. 就職活動は自分との闘いでもあります。良い意味でマイペースに、自分の意志や魅力を最大限にアピール出来る様に頑張ってください。

03 特色ある就職支援

公務員研究室

2014年度より「公務員研究室」を開設し、公務員試験に向けた勉強を習慣づけ、知識・学習・面接までを一貫して身につけます。月に一度の公務員専門学校講師による面談や模擬試験、面接対策等を行います。



エアライン特別講座

本学では、地元航空会社と連携し、学部3年生を対象とした「エアライン特別講座」を実施しています。航空業界の現状や職務内容を現役の客室乗務員等から学び、航空業界の採用試験対策を行っています。



04 北九州・下関地域への就職支援 ～「北九州・下関まなびとびあ」を核とした地方創生モデルの構築～

本学を代表として、北九州・下関地域の13の高等教育機関は、自治体・経済団体とともに、2015年度文部科学省が支援する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に応募し、採択されました。この事業では、学生の地域に関する学びを充実させるほか、事業展開スペース「まなびとJOBステーション」の運営やインターンシップの推進など、地域の学生と企業との様々な交流の機会を創出し、域内就職・域内定着を支援、推進しています。地域企業への就職者数は年々増加しており、地域の活性化に寄与しています。

05 就職支援パートナーシップ制度

本学では、出身地近郊で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を実施しています。これにより本学の学生は、就職を希望する地域の全国12大学で、就職支援、就職関連資料の閲覧、就職ラウンジの利用など本学と同様の支援が受けられます。



06 学生主体の実践プロジェクト(1~3年)

実践的な活動の中で、仕事をするために必要な素質、能力を身につけてもらうことを目標としています。

JOB×Project

学内での「合同業界セミナー」や「合同企業説明会」を、学生が企画から、企業への参加交渉、当日の運営までのすべてを行います。



卒業生からのMessage



卒業生からのMessage



株式会社スターフライヤー 営業本部営業部九州山口・中部営業所

仲野 晃太郎さん 文学部 比較文化学科 2019年3月卒業

Q.現在の業務内容

A. 法人営業。北九州・羽田間でご出張がある企業様に対して、法人サービス(SF-Biz)をご提案しています。SF-Bizとは、オンライン上でお客様が航空券のご予約・ご購入、かつ後払い精算ができるシステムです。

Q.就職先を決定した決め手

A. 地元の企業であることに加え、「常に考えて動く」「絶対に諦めない」という社長の言葉を元に全社員が一丸となっている会社だと感じ、私が10年以上続けてきた野球との強い親和性を感じた為、入社を決意しました。

Q.大学の就職支援や学業で役立ったこと

A. 【就職支援】キャリアセンター主催の「エアライン特別講座」に参加し、実際に最前線で働かれている方から学ぶことができました。この講座を通して、「何より人としての成長を強く実感し、「準備に心を尽くす」ということを常に意識しながら仕事をしております。【学業】様々な文化や文献等に触れることができ、多種多様にある考え方を先ずは受け入れることの大切さを学びました。

Q.先輩に一言

A. 大学を卒業する際、最高の4年間だったと思えるように頑張ってください。私も後から悔いを残さぬよう一生懸命精進します。何かお役に立てることがあれば、いつでもご連絡下さい!



将来の英語教員を 養成すると同時に 日本の英語教育を 支えていきたい

外国語学部 英米学科
雪丸 尚美 准教授

KITAGATA

研究の魅力

私の専門は英語教育です。特に、読むことに着目して、日本人学習者が効果的に英語を学ぶ方法を研究しています。最近では、日本人英語学習者の読み書き障がい(ディスレクシア)について研究しています。

ディスレクシアとは、学習障がいのひとつで、発症率は日本では4~5%程度と言われています。特に、英語は日本語と比べて、ディスレクシアを発症しやすい言語です。日本語では困難を感じなかったのに、英語を学び始めることでディスレクシアに気がつく場合もあります。

近年、小学校から英語教育が本格化したことで、小学校段階から英語の読み書きに困難を感じる学習者が少なからずいると想定されます。しかし、教育の現場でディスレクシアの存在が十分知られているとは言えません。英語教育で重要な課題のひとつだと感じています。



研究の源

大学で英語教員を養成したいと昔から考えてきました。私自身、中学校で英語教員をしていたことがあります。書店には英語教育に関する本が山ほどありますが、科学的な検証を得ていないものが多いです。将来の英語教員を養成すると同時に、研究を通じて、日本の英語教育を支えていきたいと考えています。

研究の未来

現在は、英語の「読み」に関する研究から派生して、ディスレクシアを含む学習障がいがある理由で英語学習の読み書きにつまづく学習者と、そのような学習者に対する指導の研究を進めています。特に、ユニバーサルデザインの観点から、障がいを持つ学習者だけでなく、すべての人にとって学びやすい学習・指導のありかたを模索しています。

ゼミのイチオシ

私のゼミは、例年、教員志望の学生8割と、教職以外の就職を考えている学生

2割で構成されます。授業では、英語教育の基本的な課題や、理論と実践についての英書を読み、内容について理解を深めるとともに教育実践への示唆を考察しています。英語教育は学生にとっても身近なテーマであるため、議論はいつも盛り上がります。



教授のイチオシ

最近、同僚のフィオナ・クリーサー教授と一緒に、英国の「スプリングボード」という女性のための自己啓発プログラムを日本で始めました。女性がいかに自律的に生きていくか、ということも昔からの関心です。大学生のためのプログラムも開発する予定です。



研究の魅力

日本の医用系技術全般は高コスト体質でありながら、痒い所に手が届くというレベルにはまだ遠い状態です。一方、我々が研究室で行う研究開発の成果物は、単体として見て高度では無くお手軽な技術でも、リハ・介護現場にて必要とされる事に関わった学生自身が実感できます。

また、医用工学を通しての信号計測や制御の応用と進化はとどまることを知らず、エッジ技術の小型化・高精細化やマシンラーニング処理手法等を取り込むことで、継続して進歩を遂げる分野です。すなわち、過去の技術をベースにした思考のアップデートが日々必要となり、常に新鮮な研究分野になります。国内外の研究者や企業と手を組み、新たな視点で開拓を進められる、そこに魅力を感じます。

研究の源

小学生の頃にアメリカドラマ「バイオニックジェミー」を見て、電子工作が好きだった当時の私は、「未来はこんな感じ!!」と、工学・医学の共存する未来に強い衝撃を受けたことが始まりです。また、エンタープライズ・ジェネレーションズに登場す



知恵を寄せ合って ヒューマニティ向上に 資する統合的研究と 未来社会への貢献

環境技術研究所
(国際環境工学部 情報システム工学科 兼務)
松田 鶴夫 教授

HIBIKINO

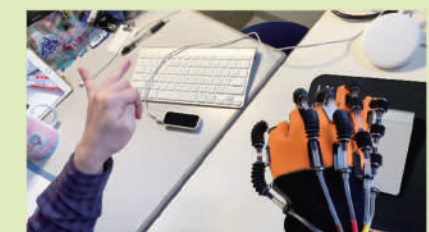
るアンドロイド「データ」と「ラル」にも衝撃を受けました。あとは、大学院の時に出会ったMacintosh Plus(Apple)でしょうか(笑)。

研究の未来

SDGs(持続可能な開発目標)の形を自分達なりにイメージし、医用工学における有機的な繋がりが確立される未来を夢想しています。これらを活用し、様々な分野の研究者や技術者、あるいは哲学者や小説家などが知恵を寄せ合って、ヒューマニティ向上に資する統合的研究と未来社会への貢献をイメージしています。

ゼミのイチオシ

ハードウェア取り扱いに必要な基礎訓練と製作実習、これらを通して計測制御するソフトウェア開発に関する基礎を学び



ます。これを通してハードとソフトは同じものであり、必要に応じてウエイトを変える手段を理解します。また、様々な回路や手法が論理により構成され、これらを組み合わせることで必要とする機能を実現していく、いわゆる「ものづくりの基本」に直接触れ得る、これがゼミのイチオシです。



教授のイチオシ

大学では深く物事を掘り下げる垂直思考を教育の主幹としています。一方、柔軟な発想と水平思考を養う必要性は、我々工学者にもこれから非常に強く求められます。すなわち全周方向に思考を展開するためにも我々は論文や真面目な書籍ばかりではなく、人との関わりや、過去の書籍や出版物、小説、アニメ、あるいは映画等を通して見聞を広めることが、私のイチオシです。



北九州市立大学後援会館

北九州市立大学北方キャンパスから少し離れた場所に、大学の第二グラウンド(青嵐グラウンド)があります。ここには陸上競技場が整備されており、中央フィールドではサッカーやラグビー、ラクロスなどサークル活動に利用されています。そのグラウンドの敷地内の一角に「北九州市立大学後援会館」があります。1981年3月の竣工以来、サークル活動や研修・交流の場として、また地域の方にも利用いただいています。2016年に、もっと沢山の皆さんに利用いただきたいと会館内外の一部をリニューアルしました。高校生、大学生、関係者の皆さま、北九大にお越しの際の宿泊やサークル活動で是非ご利用ください。



大集会室(定員270名)



2階大広間(和室66畳)



1階和室(6畳)



研修室(定員30名)



談話室

(料金等詳しくは後援会HP「後援会館」(<http://www.kitakyudai-sa.com/hall.html>)をご覧ください。)

*後援会館のご利用、お申し込み等連絡先 北九州市立大学後援会館 TEL 093-962-3013(平日:9:00~17:00)

北九大魅力発信プロジェクト2019始動しました

2012年度よりスタートした、在学生が本学のPRを行う「北九大魅力発信プロジェクト」。2019年度もその活動がスタートしました。

具体的な活動内容

(北方キャンパスの例)

大学訪問

- 学校行事で本学を訪問した高校生にキャンパス内を案内するキャンパスツアー
- 学生生活や受験体験談を語るプレゼンテーション
- 在学生との懇談会を希望する高校への対応

高校訪問

- 出身高校を中心に、広報入試課職員と同行して大学広報を行う

その他

- 大学グッズの作成 ● 大学広報イベントへの参加 など



広島コンパクトオープンキャンパス2018



三大会合同ガイダンス(広島)



ひびきのキャンパス 任命式



任命式後 上江洲学部長を囲んで

学生目線での大学PR活動は、高校生や高校教員、保護者の皆さまからも大変好評いただいております。またこれらの活動を通して、広報手法はもちろん、コミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキルの向上が見られます。

北九大魅力発信メンバーになりませんか?

このプロジェクトに興味のある学生はこちらの連絡先までご連絡ください。(北九大魅力発信プロジェクト担当まで)

北方キャンパス 広報入試課 広報係 8:30~17:15(土日・祝日除く)

TEL:093-964-4196 e-mail: kouhou@kitakyu-u.ac.jp

ひびきのキャンパス 企画管理課 企画・研究支援係 8:30~17:15(土日・祝日除く)

TEL:093-695-3311 e-mail: kikaku@kitakyu-u.ac.jp

オープンキャンパス座談会

7月14日(日)・15日(月・祝)の2日間、北九州市立大学夏季オープンキャンパスが開催されました。今回も本学の魅力を伝えるための様々な企画を催し、キャンパス内は高校生、保護者ら多くの参加者で賑わいました。

本学のオープンキャンパスは、有志による学生スタッフが企画・運営に参画して行われます。

今回は、北方キャンパスのオープンキャンパスプロジェクトに参加した学生スタッフを代表して、各班のリーダーが夏季オープンキャンパスの感想やプロジェクトの魅力などについて語り合いました。



オペレーション班
リーダー

常に笑顔を忘れず、
みんなで課題を
乗り越えた!

法学部
法律学科 3年
米通 匡哉さん



イベント班
リーダー

喜びの声を
たくさんいただき
達成感を味わった!

文学部
人間関係学科 3年
徳丸 千尋さん



プロモーション班
リーダー

企画から運営まで
学生が主体に存って
取り組むから面白い!

法学部
政策科学科 3年
中村 暢宏さん

みんなで頑張ってきたよかった!お互いを高めあえた充実の3カ月間!

皆さんの担当を教えてください。

米通 私はオープンキャンパスプロジェクト全体の運営と当日の運営を行うオペレーション班のリーダーを担当しました。スタッフの動きをいかにスムーズにさせるかということを中心に考え実行に移す、言わば司令塔としての役割を担いました。

徳丸 イベント班のリーダーを務めました。「キャンパスツアー」「キタQワールド」「学生トークショー」「サークル紹介」「保護者説明会」という5つの企画を運営しました。

中村 私はプロモーション班のリーダーを担当しました。北九大のオープンキャンパスにより多くの高校生に知ってもらうために、チラシ制作、ツイッターの運営、PR動画の制作、地域の高校に出向いてのPR活動などを行いました。

活動を振り返っての感想は?

米通 このプロジェクトに参加したメンバーは、自分のことだけではなく周りのこともしっかり見ながら考え行動できる人ばかり。どんなことがあっても常に笑顔を忘れず、課題を乗り越えていく、そんな楽しい環境の中で充実した3カ月間を過ごすことができました。

徳丸 5つのイベントの企画ミーティングに出席し、それぞれの進捗状況の確認やメンバーのモチベーションのマネジメントなど、全体を見る仕事はとても忙しく大変でした。しかし、みんなの努力の結果、参加してくださった高校生や保護者の皆さんから、「アンケートを通じて「進路選択の参考になりました」という喜びの声や「〇〇さん、ありがとうございました」といった感謝の言葉をたくさんいただきました。大きな達成感を味わうことができ、「みんなで頑張ってきたよかった」と心から感じています。

中村 北九大のオープンキャンパスの魅力は、学生が主体となって取り組む点とところにあると思

います。誰かのためにボランティアで頑張ろうとする、そんな人たちと一緒に何かを作り上げ、感動を分かち合えることがうれしくて、私はこの3年間、オープンキャンパスプロジェクトに関わってきました。

自分のどのようところが成長したと思いますか?

米通 私はこれまでリーダーの役割を経験したことがなかったため、みんなを前に引っ張っていくというよりも、みんなを盛り上げることを強く意識しました。メンバーに恵まれ、班の雰囲気はとても良く、結果的に大変盛り上がり、それが良い仕事に繋がりました。みんなの状況を見て、班を盛り上げることができたのが、成長できた点だと思います。

徳丸 イベント班のリーダーは、各企画の内容を他の班のメンバーに説明したり、オープンキャンパス当日は来場者の前で話したりする場面が多く、気づいたら人前でも物怖じしなくなっていました(笑)。

中村 私はリーダーとして「メンバーは本当に楽しめているのか」ということに気を配りました。人が集まると、楽しそうに見えても、心の中で悩みを抱える人もいると思います。まだまだ十分ではありませんが、そこに目を向けることができたのが、自分の中で成長したところだと思います。

高校生の皆さんにメッセージを。

米通 オープンキャンパスのスタッフをやってみて感じたのは、「オープンキャンパスは高校生のやる気に直接関わる大事なものだ」ということでした。高校生の皆さんは、入学前に大学の理解を深め、受験へのモチベーションを高めることができるオープンキャンパスをぜひ利用するべきだと思います。

徳丸 北九大のオープンキャンパスは学生が主体になって取り組んでいるので、北九大生と話す機会がたくさんあります。高校生の皆さんからの質

問にもいっぱい答えられると思います。それを通じて自分が大学生になった姿を想像できると思うので、来年参加される方は、積極的に北九大生に声をかけてください。

中村 私がオープンキャンパスプロジェクトを楽しめてたのは、プロジェクトの雰囲気やメンバーがとても素晴らしいからです。北九大には、このような楽しい環境がたくさんあると思うので、高校生の皆さんにはぜひ「楽しい場所を見学する」という気持ちで、オープンキャンパスにお越しいただきたいです。



座談会に参加できなかったプロジェクトリーダーより一言

私は、オープンキャンパスプロジェクト全体を統括するプロジェクトリーダーという役割を担いました。活動をする中で、責任のある立場としての自身の在り方に悩んだ時期もありましたが、最終的に自信を持って「大成功」といえる当日2日間を創り上げることが出来ました。

法学部
政策科学科 3年
板谷 真一さん

